



キミの一投が
心を沸かす。

みやぎ小学生ボッチャクラシック 2025～インクルーシブ頂上決戦～ 競技規則

本競技会は、関わる全ての人々が大切にすべき価値観として定める「ボッチャクラシック・バリュー」を共通原則とし、競技規則については、[日本ボッチャ協会競技規則フレンドリーマッチ版 v.1.0](#) に則り、主催者が定めた特別ルールを併用する。

ゲーム進行や得点の数え方などの基本的なルールは、[日本ボッチャ協会公式 Web サイト「ボッチャの試合の流れ」](#)を参照。

1. ボッチャクラシック・バリュー

(1) Respect (リスペクト)

関わりのある全てのことを大切に思う心。その根底になるのが、ルールを守り、フェアプレーの精神をもって正々堂々と戦うこと、偏見や差別の無いオープンな心を持つことです。

また、サポート側にも選手のために最善を尽くす「プレーヤーズファースト」の視点が大切です。

(2) Challenge (チャレンジ)

勝利の鍵は仲間同士のコミュニケーション。そこには、冷静な判断、相手との駆け引き、戦術と戦略を通じてお互いを支え合い、認め合いながら競技に挑むチャレンジ精神が必要です。

チャレンジの一投が、すべての人の心を沸かします。

(3) Enjoy (エンジョイ)

「エンジョイ」できることが、スポーツの本来の姿です。競技を通じて、多くの人たちとの出会いや関わりを楽しみ、あらゆる活動のモチベーションにつなげていきましょう。

2. チーム編成

(1) 選手は、宮城県内の小学校または特別支援学校に在籍する3年生から6年生の児童で、4名以上、最大6名までとする。

メンバー構成は、通常の学級に在籍する児童と、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童の混合とし、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童を2名以上含むことを原則とする。

(2) 必要に応じて、監督、コーチを各1名配置することができる。

(3) 試合は2エンド制で行い、1エンドに出場する選手は3名とする。ただし、すべての選手が最低1エンドはプレーすることを条件とする。

(4) プレー時に補助が必要な場合、選手1名につき1名のアシスタントが試合に参加できる。なお、アシスタント役として、大会運営スタッフのサポートを希望することができる。

(5) 試合当日の受付時に、(1)の条件を満たしていない場合は、当該チームの戦績は無効とする（試合には出場可）。また、受付後に、(1)の条件を満たさなくなった場合も同様とする。

5. 持ち時間

各チーム持ち時間は、1エンド5分とする。

6. 反則の緩和

選手の障害の状況やボッチャの習熟度を考慮し、日本ボッチャ協会競技規則フレンドリーマッチ版 v.1.0 の違反行為を緩和し、審判が軽微と判断した場合、罰則を科さず、注意や指導にとどめる。